

留学先国名 : アメリカ合衆国

留学先学校名 : サンフランシスコ州立大学

留学期間 : 平成 25 年 8 月 7 日 ~ 平成 29 年 5 月

さて渡米して2年と半年が経とうとしています。最後に留学報告書を提出したのが6月ということなので、それ以降の次第を書きます。

昨年（2015年）の夏休みを利用してサンフランシスコからボストンまでアメリカ横断の旅に行ってきました。期間は約1ヶ月、レンタカーにて行ってまいりました。メンバーは4人、俺を除いた3人は日本で社会人をしています。このみんなは昨年ペルーに行ってきた時に知り合った「旅仲間」です。サンフランシスコで留学していると聞きつけたおじさんが「だったらアメリカ横断しようよ！」って言ったのがきっかけでした。

サンフランシスコからボストンまではどこにも寄らずに真っ直ぐ行くと最短で3-4日しかかからない距離です。今回の旅は合計で27日間くらいの設定だったので様々な場所に行って一日か二日滞在することができました。カリフォルニアから始まって、ネバダ、ユタ、アリゾナ、ニューメキシコ、テキサス、オクラホマ、アーカンザス、テネシー、イリノイ、ミシガン、オハイオ、ペンシルバニア、ニューヨーク、マサチューセッツと15以上の州と都市を回りました。西海岸から東海岸に旅していくと、まず感じるはその土地の広さと、壮大な大地の力強さです。カリフォルニア州だけで日本の国土より大きく、アメリカ合衆国全体を見るとその国土は日本の25倍になります。日本各地の多様な景色の移り変わりを想像するとアメリカの壮大さがイメージしやすいかと思います。先の報告書で季節感が感じられないと嘆いていましたが、どうやらサンフランシスコに限ったことのようにです。アメリカでは灼熱の砂漠からジメジメと湿気が熱い森まで多様な土地を訪れることができました。湿気の多い土地では蚊もいました。ちょっと嬉しかったです。

西海岸から中西部に入るとアメリカの歴史が感じられるようになります。テキサス、ダラスではケネディー大統領を暗殺したとされる男が潜んでいた場所が博物館となっており、その時代背景や陰謀説について学びました。

テキサスから少し北西に行くとメンフィスという町があります。そこは人口の80から90パーセントが黒人であるため、それまでとは全く違った雰囲気を感じました。マーティンルーサーキング牧師が公民権運動の活動中にこの町のモーテルで暗殺されたことが有名です。このモーテルは今博物館になっており、黒人のアメリカ合衆国における歴史からキング牧師の活動の内容まで様々な事柄について学べます。日本で育ってきた人間としては差別や公民権運動を歴史の教科書か映画の中で知らなかった内容なのでとても衝撃でした。

ケネディー大統領が生きた時代とキング牧師の活動が同じ時代だったため、ケネディー大統領について学んでいたこともより良い理解につながったと思います。

メンフィスはその音楽の文化でもとても有名です。黒人が多くいることで発達したブルース音楽、そのブルースとカントリーを混ぜて音楽史に革新をもたらした（らしい）エルビスプレスリーが生涯をメンフィスで過ごしたことなどが有名でアメリカの音楽史を語る上で外せない場所です。エルビスに関してはロックンロールに馴染みがないものとしてはあまり凄さがわからなかったですが、キング牧師の博物館に寄った後に行ったバーで聞いたブルースはと

でも感慨深かったです。黒人が虐げられていた歴史を学んだ後に、黒人の音楽を人種を問わず楽しんでいる場を目撃して、アメリカにおける黒人の地位の向上に心から喜ぶことができました。

アメリカを旅していて自分のコミュニケーション能力に自信が持てるようになりました。旅の途中で心がけていたのは、なるべく多くの人に話しかけてその場所の文化と人を理解しようということです。まず気づくのは場所によるアクセントの違いです。テキサス人はこんな風に話すんだぞって笑い話を聞いたことが何度もあったので、実際にその話し方を聞いたときは思わずすげーと思いました。そんなアクセントが強い場所でも俺は不自由することなく聞き取りができて、その人も俺が言ったことを理解してくれました。

多くのアメリカ人に話しかけて、どこから来たんだい、っていうような話をすると、日本とアメリカの戦争の話や沖縄の基地の話が振られることも多々ありました。アメリカ軍に何年かいて、沖縄にしばらくいた人間にたくさん会いました。娘を沖縄で産んだおばあさんにも会いました。みんな日本が大好きでした。今年で戦後70年になりますが日本とアメリカが過去に争っていたなんてまるで想像ができないのが、アメリカに渡ってきて感じたことの一つです。日本のサブカルチャー等の人気もあって、日本人というだけでアメリカ人が寄ってくる状況にとっても嬉しく思います。

旅の終盤、ニューヨークのセントラルパークを訪れました。ニューヨークの都市のど真ん中にある広大な公園で、公園内はよく整備されてストリートパフォーマーが多くいたりしてとてもいい場所でした。その公園をあてもなくただぶらぶらと散歩していると、ストロベリーフィールドという場所にたどり着きました。ちょっとした広場になっていて中央にイマジジンと書かれていてその周りにベンチが並んでいるだけの場所です。そのイマジジンの文字を一目見ようとしてジョンレノンやビートルズのファンが世界中から集まってくる場所です。その場所にはたくさんの人がいて、ベンチの一つにはギターを持ったビリーおじさんがビートルズの曲をひいていました。そのおじさんに合わせて集まってきた観光客たちが歌ったり踊ったり、その歌を聴いているだけでとても平和な気分になります。俺はその場所でただ音楽を聴きながら3時間以上の時間を過ごしました。観光客の中には多様な人種の人達がいる、みな違う言語を話し、違う文化を持つ人たちでした。しかし、皆音楽という共通の言語で繋がっていて、平和を願う意志を共有していたのではないかと思います。ジョンレノンが夢見た、国境も何もなくて平和のみがある世界がそこにはありました。アメリカの歴史はただか400年くらいしかない、と言って鼻で笑うような発言を日本ではよく聞きました。俺もそう言って日本のアメリカに対する優位性を疑わなかった人間です。しかし、その短い歴史の中で、アメリカの世界に対する影響力と歴史の濃さは日本とは比べものにならないものがあります。インディアンとの争いに始まって黒人の公民権運動、太平洋戦争、アメリカという国はそういった様々な争いと憎しみの上に成り立っていて、その暗い歴史をアメリカは往々にして乗り越えてきた事実がこの旅にて学んだことです。他国に類を見ない多様性を持つアメリカにおいて、世界の先駆者として役割はおおきく、これからのアメリカ社会、そして世界における人類の発展と向上に希望が少し持てました。